

ウポポイ・縄文土器・暮らしについて

調べたいと思った理由は、アイヌ文化やアイヌの言葉が気になったからです。

調べてわかったこと

ウポポイの施設について

園内には、「伝統的コタン」「工房」「国立アイヌ民族博物館」「歓迎の広場」「いざないの回廊」「エントランス棟」「チキサニ広場」「体験交流ホール」「体験科学習館」といった、施設があります。あとはポロト湖、という湖もあります。開園時間は、9:00~18:00で日によって、開園時間は、変わります。1階には、「基本展示室」「パノラミックロビー」「特別展示室」、2階には、「シアター」「基本展示室」「特別展示室」があることがわかりました。

当日に調べたいこと

当日に調べたいことは、ウポポイに行ってアイヌのことなど色々と調べたいと思っています。それでアイヌのことを少しでも知れたら良いなと思います。

修学旅行のまとめ（ウポポイ）

聞いて見てわかったこと

ウポポイの展示室には、子供の頃の遊びや大人の準備やその他の各場所に、道具がありました。あとは、食事をするときの器や、料理をするときの道具がありました。アイヌ文様の服などがありました。



アイヌ文化劇をみて、ムックリや歌が凄かったです。

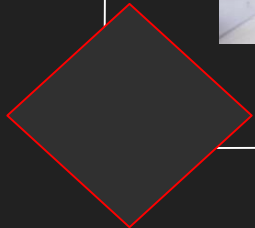
アイヌ民族は女性や男性の衣装が違うことがわかりました。

踊りなども凄かったです。

アイヌ語での歌が凄かったです。



ウポイでの写真集



思い出川柳（ウポポイ編）

ウポポイで



アイヌ文化が

よくわかった

これは、アイヌの劇などをやってるときのことやウポポイの施設を見ているときです。

縄文の暮らしと土器から分かったこと

修学旅行の後の9月29日に、外部講師の熊谷さんが砂川市から出土した縄文土器の破片や穴を掘る道具を見せてくれました。

砂川市にも縄文土器があるとは思っていなかったのも、とても驚きました。

砂川でも縄文時代の暮らしが行われていることで、興味がわきました。



振り返り

アイヌの挨拶やアイヌのことなどを少しでも知れたから良かったと思っています。アイヌ民族が子供のころや大人の準備などに使っていた道具などが分かりました。アイヌ語などを知れたからアイヌ関連の授業に使って行こうと思いました。ウポポイやその他のことがとても思い出に残り、ウポポイに行く途中のバスガイドさんの遊びが心に残りました。

